

農林水産商工常任委員会資料

(平成23年3月9日)

項 目

- 1 年度末の金融相談等への休日相談対応について
【経済通商総室(経営支援室)】……………1
- 2 鳥取県広州食品商談会について【経済通商総室(通商物流室)】 ……………2
- 3 「地域雇用開発計画」の国への提出について
【雇用人材総室(人材育成確保室)】……………3
- 4 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の平成22年度
予備枠の執行状況について【雇用人材総室(雇用就業支援室)】 ……………4
- 5 鳥取労働局緊急雇用対策本部の概要について(エプソンイメージング
デバイス(株)関係)【雇用人材総室(雇用就業支援室)】 ……………(別紙)
- 6 株式会社HRDの設備投資に伴う協定書の調印について
【産業振興総室(企業立地推進室)】……………5
- 7 即墨市金龍プラスチック印刷有限公司の大山町進出に伴う協定書の調印に
ついて 【産業振興総室(企業立地推進室)】……………6
- 8 EV人材育成カリキュラム開発事業について
【産業振興総室(産学金官連携室)】……………7
- 9 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について
【市場開拓課】……………8
- 10 ニューヨーク国際レストラン&フードサービスショーへの出展について
【市場開拓課】……………(別紙)

商 工 労 働 部

年度末の金融相談等への休日相談対応について

平成23年3月9日
経済通商総室
経営支援室

円高やデフレ、北アフリカや中東の政情不安による原油価格高騰懸念による下振れリスクなど、依然として先行きの見えない不安定な経済情勢の中、景気対応緊急保証制度の終了や資金需要期である年度末を迎え、中小企業者の金融相談に対応するため、鳥取県信用保証協会及び各商工団体と連携して、下記のとおり休日の相談対応を実施します。

1 県による電話相談対応

項目	内容	
実施日時	3月26日(土)・27日(日) 8時30分～17時15分	
実施方法	電話対応のみ	
実施場所	鳥取県商工労働部経済通商総室経営支援室	0857-26-7453
実施内容	県制度融資、関係機関の紹介など	

2 鳥取県信用保証協会による電話・窓口相談対応

項目	内容	
相談体制	《平日》電話、窓口対応の時間を19時00分まで延長（通常は17時15分） 《休祝日》 ・電話対応のみ：3月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、 19日(土)、20日(日)、21日(祝) 9時00分～17時00分 ※本所対応（支所への架電は本所に自動転送） ・電話、窓口対応：3月26日(土)・27日(日) 9時00分～17時00分	
相談窓口	東部地区：鳥取営業所（鳥取産業会館3階）	0857-26-6631
	中部地区：倉吉支所（倉吉商工会議所会館1階）	0858-22-6103
	西部地区：米子支所（米子商工会議所会館4階）	0859-34-3535

3 商工団体による電話・窓口相談対応

団体名	内容	電話番号
鳥取商工会議所	3月26日(土)・27日(日) 8時45分～17時00分	0857-32-8005
倉吉商工会議所	3月26日(土)・27日(日) 9時00分～17時00分	0858-22-2191
米子商工会議所	3月26日(土)・27日(日) 9時00分～17時00分	0859-22-5131
境港商工会議所	3月26日(土)・27日(日) 8時40分～17時00分	0859-44-1111
鳥取県商工会連合会	3月26日(土)・27日(日) 8時30分～17時15分	0857-31-5555
鳥取県中小企業団体中央会	3月26日(土)・27日(日) 8時30分～17時00分 ※26日(土)は米子支所も開設(0859-34-2105)	0857-26-6671

※鳥取県商工会連合会は本所対応のみ。

鳥取県広州食品商談会について

平成23年3月9日
 経済通商総室
 通商物流室

中国一消費購買力の高い華南地域の中心地である広州において、安全、安心、美味で定評のある本県の各種食品の一層の販路開拓を図るため、初の本県単独による「鳥取県広州食品商談会」を開催しました。

なお、この取組は、中国経済産業局の「平成22年度地域企業立地促進等事業費補助金（地域中小企業海外販路開拓支援事業）」を活用し、財団法人鳥取県産業振興機構が実施主体として行ったものです。

1 鳥取県広州食品商談会概要

- (1) 日時 平成23年2月22日（火）午後1時～5時、23日（水）午前9時～午後5時
- (2) 会場 花園酒店（広州市環市東路368号）

2 参加企業、参加バイヤー等

・参加企業 県内企業13社

企業名		主な出展商品
(有)AONケミカル	鳥取市	二十世紀梨酢、梨酢飲料 ほか
(有)一善や	鳥取市	菓子（抹茶ロールケーキ、パウンドケーキ）
クローバー貿易㈱	鳥取市	二十世紀梨ドリンク、白山命水 ほか
㈱ゼンヤクノ	鳥取市	健康茶（ほと麦茶、黒豆茶 ほか）
㈱林兼太郎商店	鳥取市	梨スパーリングワイン、二十世紀梨チューハイ ほか
(有)あぶい蒲鉾	琴浦町	魚肉練り製品（長いも蒲鉾 ほか）
㈱越河	米子市	かにみそ、甲羅グラタン ほか
㈱ダイヤモンド	米子市	氷温加工品（あじの南蛮漬 ほか）
(有)ルウ研究所	米子市	コラーゲン
㈱島谷水産	境港市	水産加工品（魚肉ハンバーグ、たたき身 ほか）
千代むすび酒造㈱	境港市	日本酒、焼酎、梅酒
友田セーリング㈱	境港市	水産加工品（紅ズワイ爪 ほか）
㈱福栄	境港市	いか醤油漬

・参加バイヤー 広東省及び香港の貿易会社、量販店、料理店など計37社

3 商談会の成果及び今後の予定

- ・成約3件、成約見込17件
- ・上海コーディネーター（鳥取県産業振興機構が委託）との連携のもと、有望バイヤーへの事前訪問等を実施し、内容の濃い商談に結びつけた。
- ・商談会に顧問として同行した㈱合食（食品流通事業、貿易事業等を行う日本の有力な食品総合企業）が参加企業へ貿易実務をアドバイスし、効率的に商談を進めることができた。
- ・参加企業の多くが初の中国華南地域での販路開拓であったが、今回の商談会を通じて、同地域での販売可能性を探ることができ、新たな市場展開のきっかけを作ることができた。
- ・今後もジェトロ鳥取貿易情報センターや上海コーディネーター及び㈱合食と連携しながら、引き続き成約に向けたフォローアップを実施する。

4 出展企業の主な声

- ・市場として可能性があり、非常に魅力を感じた。
- ・海外の商談会に初めて参加し、とてもいい勉強になった。商品に関心を持ったバイヤーと話を進め、1社でも輸出できるよう頑張りたい。
- ・短期間ながら、華南地域の主要業者が来場し、同地域へ販路拡大するきっかけができた。
- ・冷凍品の物流に問題はあがるが、今後に期待できる。

(参考) 商談会の様子



「地域雇用開発計画」の国への提出について

平成23年3月9日
雇用人材総室
人材育成確保室

地域雇用開発促進法（以下「法」という。）に基づき県が対象地域を指定して「地域雇用開発計画」（3年間）を策定し国の同意が得られたら、当該地域で工場等を新設・整備する場合に、企業が国から直接助成金を受けられることとされています。

本県では、国の同意を受けている3地域の計画のうち2地域が22年度末で終了しますが、いずれも改めて計画を国に提出できることから、次のとおり計画を策定し国に提出します。

1 国の同意を得ている計画と対応

- ①八頭地域（H20.4～H23.3） ⇒ 対象を東部地域に拡大（鳥取市及び岩美・若桜・智頭・八頭町）
- ②境港地域（H20.4～H23.3） ⇒ 境港地域を継続
- ③中部地域（倉吉・三朝・湯梨浜・琴浦・北栄）（H21.4～H24.3）

2 計画提出に係る国の要件

基本的にハローワーク単位で、次のとおり有効求人倍率等が一定割合以下の地域が対象。

なお、「八頭地域」はハローワークが廃止されたが、ハローワーク鳥取管内の「東部地域」に要件を適用することが可能となった。

また、「境港地域」はハローワーク廃止前に計画が同意されたため、暫定措置によって、ハローワーク米子管内から切り離れた計画を策定して国に提出することが可能となった。

【国に提出できる要件】

「ア」かつ「①又は②」の場合が対象

ア 最近3年間の労働力人口に対する一般有効求職者数の割合が全国平均以上(%)
⇒全国平均3.8%に対し、鳥取4.7%、境港4.3%。

① 最近3年間及び1年間の一般有効求人倍率が全国平均の2/3以下
又は
② 最近3年間及び1年間の常用有効求人倍率が全国平均の2/3以下
⇒②について、鳥取と境港が該当。(①は全地域が該当しない。)

3 計画の概要（本文（案）は別添のとおり）

法に基づき、各地域ごとに次の項目に係る内容を記載。

- ①雇用開発促進地域の区域
- ②労働力の需給状況その他雇用の動向に関する事項
- ③地域雇用開発の目標に関する事項
- ④地域雇用開発を促進するための方策に関する事項など

⇒東部地域「鳥取公共職業安定所地域雇用開発計画」

境港地域「鳥取県境港地域雇用開発計画」

※計画期間：平成23～25年度まで（3年間）

4 国の同意を得るメリット

事業所の設置等に伴い雇用した場合、設置等の費用に応じて40～900万円/年が、事業主に3年間支給される（地域求職者雇用奨励金）

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の
平成22年度予備枠の執行状況について（2/28現在）

平成23年3月9日
雇用人材総室
雇用就業支援室

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の今年度の県事業予備枠を活用して追加実施することとなった事業は、以下のとおりです。

平成22年度予備枠の執行状況(2月28日までに追加決定した事業)

(1)ふるさと雇用再生特別交付金事業 追加事業なし

(2)緊急雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(文化観光局)国際観光推進課	韓国ドラマ活用促進・誘客強化事業	1	864	鳥取県でロケが行われた韓国ドラマのコンテンツの活用、ロケ地情報の発信により鳥取県のPR、観光客の誘客等を図る。
国際観光推進課	外国人観光客誘客対策事業(ロシア事業推進員の配置)	1	864	ロシア観光客誘致事業推進員を配置することによりロシア向け観光プロモーション、受け入れ態勢の整備を図る。
(福祉保健部)西部総合事務所福祉保健局	肝炎治療助成及び特定疾患対策に係る補助事務	1	515	肝炎治療特別推進事業を始めとした健康づくり支援対策や特定疾患対策のため、非常勤職員の配置を行う。
(県土整備部)県土総務課	建設工事等入札参加資格審査事業	2	1,266	建設工事及び測量等業務の契約に係る入札参加資格の審査のため、非常勤職員の配置を行う。
今回報告分計①		5	3,509	
報告済分②		568	678,884	
合計③(=①+②)		573	682,393	
県実施分現計予算額④			1,117,500	
残額(④-③)			435,107	

(3)重点分野雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(農林水産部)全国豊かな海づくり大会推進課	第31回全国豊かな海づくり大会ボランティアセンター運営事業	2	1,608	第31回全国豊かな海づくり大会鳥取大会においてボランティアとの協働、連携を図るため、ボランティアセンターを設置し、募集、連絡調整、研修等の業務を行う。
今回報告分計①		2	1,608	
報告済分②		602	816,389	
合計③(=①+②)		604	817,997	
県実施分現計予算額④			824,000	
残額(④-③)			6,003	

(4)地域人材育成事業 追加事業なし

(参考)

○ふるさと雇用再生特別交付金事業

鳥取県ふるさと雇用再生特別基金(財源:国10/10)を活用した事業により、継続的雇用機会の創出を図るもの。

○緊急雇用創出事業

鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金(財源:国10/10)を活用した事業により、一時的な雇用機会の創出を図るもの。

○重点分野雇用創出事業

緊急雇用創出事業のうち、特に重点分野(介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用、教育・研究、産業振興、文化・スポーツ、暮らしの安全・安心、子育て)に係るもの。

○地域人材育成事業

緊急雇用創出事業のうち、一時的な雇用機会の創出を図りつつ、地域のニーズに応じた人材育成を行うもの。

株式会社HRDの設備投資に伴う協定書の調印について

平成23年3月9日
産業振興総室
企業立地推進室

株式会社HRDが、照明用LEDの増産に対応するため、本社工場内に新たな設備投資を行うこととなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で協定書の調印を下記のとおり行いました。

記

1 企業概要及び事業計画

- (1) 名称 株式会社HRD
- (2) 代表者 代表取締役社長 はらだ よしあき 原田 宜明
- (3) 住所 鳥取市津ノ井300番地1
- (4) 資本金 30,000千円
- (5) 従業員数 85名
- (6) 業務内容 LEDの開発・製造・販売、電気機械器具EMS/OEM生産

EMS 他メーカーから受注した電子機器の受託生産を行うサービス。
製品の設計も行う。(Electronics Manufacturing Service の略)
OEM 他社ブランドの製品を製造すること。製品の設計は発注元が行う。
(Original Equipment Manufacturer の略)

<投資計画>

- ・立地場所 鳥取市津ノ井300番地1
- ・投資額 約9千万円
- ・雇用予定 50名
- ・事業内容 照明用LEDの製造
- ・操業開始 平成23年3月

2 調印式の概要

- (1) 日時 2月24日(木) 午後4時から4時45分
- (2) 場所 鳥取県知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社HRD
代表取締役社長 原田 宜明
鳥取県知事 平井 伸治
鳥取市長 竹内 功

社HRDの工場設備増設に係る
協定書調印式



即墨市金龍プラスチック印刷有限公司の大山町進出に伴う協定書の調印について

平成23年3月9日
産業振興総室
企業立地推進室

即墨市金龍プラスチック印刷有限公司が、日本法人を設立し、ポリプロピレン・ポリエチレン袋の製造を大山町で行うこととなり、これを支援する鳥取県及び大山町の間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

記

1 即墨市金龍プラスチック印刷有限公司の概要

- (1) 中国名 即墨市金龍塑料複合彩印有限公司
- (2) 代表者 総経理 金岩軍
- (3) 住 所 中華人民共和国山東省青島即墨市経済開発区泰山三路147号
- (4) 資本金 1,000万円(約1億3,000万円)
- (5) 工場規模 主工場 敷地55,000㎡、建物25,000㎡
- (6) 従業員数 約200名
- (7) 主な製品 食品包装袋、ギフトバック、収縮ラベル、フィルムなど
- (8) 取引先 中国国内(約20%)、アメリカ、日本、韓国など海外向け(約80%)
- (9) 年間売上 2009年 6,000万円(約7億8,000万円)

2 日本法人(予定)の概要

- (1) 名 称 株式会社マルキン
- (2) 代表者 金岩軍
- (3) 住 所 大山町東坪515
- (4) 法人設立 平成23年4月1日
- (5) 資本金 6,000万円

3 立地計画の概要

- (1) 事業内容 ポリプロピレン・ポリエチレン袋の製造・販売
- (2) 立地場所 大山町東坪515(旧光徳小学校の体育館・校舎を大山町から賃貸)
- (3) 投資額 約1億円(当初は5,000万円)
- (4) 導入機器 吹き出し機、製袋機、ドライラミネート等
- (5) 従業員数 当初10名程度 将来的には20~30名程度
- (6) 売上高 初年度6,000万円
- (7) 事業開始 平成23年6月(予定)

4 調印式の概要

- (1) 日 時 3月1日(火) 午後1時~2時
- (2) 場 所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 即墨市金龍プラスチック印刷有限公司
総経理 金岩軍
鳥取県 知事 平井 伸治
大山町 町長 森田 増範



EV人材育成カリキュラム開発事業について

平成23年3月9日
産業振興総室
産学金官連携室

1. 目的

産学官の連携により、県内の大学・高専生を対象としたEV人材育成カリキュラムを開発し、EV産業における中核的な人材を育成することにより、本県のEV関連産業の集積に向けた取組を促進する。

2. 取組内容

(1) EV人材育成カリキュラム開発委員会

産学官の関連機関で委員会を構成し、カリキュラムの内容の設計等を行う。現在までに2回開催し、3月下旬に3回目を開催予定。

- ①第1回カリキュラム開発委員会（平成22年8月11日 米子コンベンションセンター）
 - ・委員長選出、カリキュラムのコマ構成及び開発方法について協議
- ②第2回カリキュラム開発委員会（平成22年9月29日 鳥取大学）
 - ・カリキュラム各コマの内容、開発スケジュール及び実証講義について協議

(2) 導入講義

EVの現状把握やEV関連産業振興の機運醸成を目的に、導入講義としてEVに関する講演及びパネルディスカッションを実施。

- ①第1回導入講義＜鳥取大学・鳥取県地域連携講座「電気自動車と地域活性化」＞
（平成22年9月29日 鳥取大学）
 - ・先駆的EV開発を推進する企業の代表による講演及び鳥取大学関係者とのパネルディスカッション
 - ・講師：㈱SIM-Drive 代表取締役社長 清水 浩氏
- ②第2回導入講義（平成23年2月24日 米子工業高等専門学校）
 - ・先駆的EV開発を推進する企業の代表による講演及び米子高専生とのパネルディスカッション
 - ・講師：㈱ナオプトニクス・エナジー 代表取締役 藤原 洋氏

(3) 実証講義

開発したカリキュラムを使用して試行的に講義を行い、改善点・問題点等を検証。アンケート結果等を活用し、来年度、カリキュラムの作成にフィードバック（改修）。

- ①第1回実証講義（平成23年1月14日 鳥取環境大学）
- ②第2回実証講義（平成23年1月31日 鳥取大学）
- ③第3回実証講義（平成23年2月24日 米子工業高等専門学校）
 - ・講師：㈱SIM-Drive インホイールモーター・プロパルジョン開発部 部長代理 新井 英雄氏
 - ・講義テーマ：第1回及び第3回「電気自動車概論」
第2回「電磁気学とモーターの概念」

3. 今後の予定

- | | |
|------|----------------------|
| 3月下旬 | 第3回EV人材育成カリキュラム開発委員会 |
| 4月～ | 実証講義及びカリキュラムの作成（改修） |
| 10月～ | 県内高等教育機関による講義実施 |

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成23年3月9日
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の最近の状況について、報告します。

1 県産食材PR試食会の開催について（今年度2回目）

県内のすぐれた食材のPR等を目的として、首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者を招いて県産食材を使用したメニューの提案・試食を行う「鳥取県産食材PR試食会」を下記のとおり開催しました。

（10月24日（日）に引き続き、今年度2回目の開催）

- （1）日時：2月7日（月）午後2時～5時
- （2）場所：アンテナショップレストラン
- （3）招待者：首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者 60名程度
- （4）参加食材：10食材、県内から7生産者（販売者）が出席して直接PR

区分	食材名	生産者（販売者）	所在地
肉類	因州しし肉	シンボタンの会	鳥取市
魚類	ハタハタアンチョビ	トウエ株式会社	岩美町
	カジカ	原田 明宏	倉吉市
	漁師中村のこだわりマアジ	中村 隆行	大山町
	甲サザエ		
野菜類	五寸人参	わたや	八頭町
	大根		
きのこ類	有機原木シイタケ	株式会社大英組	智頭町
	有機乾シイタケ（スライス）		
果樹類	二十世紀梨、新興梨、王秋梨	さんこうえん	鳥取市

※参加食材については募集を行い、決定

（5）開催概要：

- ・当日、招待者からサンプル送付の希望があるなど、高評価の食材があった。
- ・後日、招待したレストランから生産者に対して発注があるなど、販路拡大のきっかけとなった。

（参加した生産者の声）

- ・盛況な試食会であったと思う。
- ・会場は狭かったが、逆に招待客との距離がなく良かった。
- ・これだけのレストラン関係者に会う機会はなく、大変刺激になった。
- ・何度かこのような会に参加し、PRの経験を積むことが必要と思った。

※参考

- ・1回目に参加した食材が、試食会をきっかけに、東京・丸の内と神奈川県のイタリアンレストラン2店舗で取扱い開始された。



県産食材PR試食会の様子

2 アンテナショップ効果事例

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介した結果、販路開拓に成果。

<販路開拓・拡大>

【取扱決定】

商談相手	商談状況
全国の小規模作業所や地域のこだわり商品を中心に展開するネット通販会社	1社2商品（カレー、シチュー）の取り扱いが決定。

<商品開発（改良）>

アンテナショップで収集した情報を県内事業者へ伝達し、新商品開発や商品改良に取り組み。

【主なもの】

商品名	内容
ゆきっこ干し大根	催事出展時にあった消費者の声から、軽くて持ち歩きに便利な干し大根を商品化。

3 取組状況

<県産品の情報発信>

・テレビ・雑誌等でのアンテナショップの紹介

東京新聞（1/1）、朝日新聞折込紙「定年時代」（1/5）、早春ぴあ首都圏版（1/6）、旅行読売臨時増刊号「東京さんぽ」（2/23）、MEN'S CLUB（4月号）

・2階飲食店舗において、県産ハタハタの美味しさを広く知ってもらうための「発見・体験 鳥取県産ハタハタ美味しさセミナー」を開催（2/27）

・2階飲食店舗において、鳥取の「おいり」と旬の果物をアレンジしたスペシャル・パルフェ（パフェ）を提供（2/28～3/5）

<催事による情報発信>

【店頭催事】

○2月

・認知症予防効果のあるアロマオイル、天日干しワカメと杜仲茶、ルバーブジャムと手づくりこんにやく、ゆきっこ干し大根、ハタハター夜干し等の水産加工品の試食（宣伝）販売を実施した。（5事業者）

・山陰海岸ジオパークのPR（2/17）

○3月（予定）

・紅ズワイガニのむき身（ペースト）、天然酵母パン、筍を使った乾物「竹するめ」、梨を使ったジャムやケーキなどの加工品、牛乳やコーヒー牛乳などの乳製品、薬膳そば、梨サイダーの試食（試飲）販売を実施予定（7事業者）

【店舗外催事】

・代々木公園（渋谷区）で開催されるNHK「ふるさとの食につぼんの食・全国フェスティバル」にアンテナショップが出展予定（3/12～13）

<情報の伝達>

・アンテナショップスタッフが、アンテナショップで収集した消費者の反応等を基に、アンテナショップで販売している商品の改良アドバイス等を行う会と商談会を開催予定（3/27～28、倉吉未来中心）

4 運営状況

<来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高（千円）		来店客数	営業日数	売上高（千円）
			うち催事売上高（千円）				
H20.8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
H21.1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
H20.8.29～ H21.3.31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業 日数	売上高 (千円)		来店客数	営業 日数	売上高 (千円)
				うち催事売上高 (千円)			
H21. 4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
H22. 1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4~H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
12月	5,967名	31日	9,060	261	1,736名	27日	6,210
H23. 1月	4,660名	28日	6,616	199	1,050名	18日	3,268
H22. 4~H23. 1	59,410名	303日	78,755	2,526	15,811名	246日	51,258
合 計	170,959名	875日	221,888	5,468	51,280名	708日	177,077

<物販店舗の人気商品 (1月)>

順位	品 名	販売価格
1位	生干しほたるいか	(100g入) 525円
2位	あごちくわ・生	(1本入) 310円
3位	とうふちくわ・生	(1本入) 250円
4位	あご入り鰹ふりだし	(3袋入) 380円 (30袋入) 1,000円 (50袋入) 1,600円
5位	鬼太郎どら焼き	(5個入) 525円